

新年

あけまして

おめでと〜ございませす。

昨年は県下で一斉に「富士の国やまなし国文祭」が開催され、甲州市でもたくさんの方々の事業を開催し、多くの方々に甲州市の歴史や文化を体験していただきました。

とくに十月の「信玄公ゆかりの文化財巡り」では、向嶽寺の国宝・達磨図や菅田天神社の国宝・楯無鎧を公開するなど、二度と得がたい展示会を提供しました。

一方で、上条地区の保存に関しては、八月二日に「伝建地区選定にかかるスケジュール予定と条例制定に関する説明会」を開き、翌九月九日から十三日にかけて、工学院大学の後藤研究室の学生による附属屋調査をさせていただきました。

条例については、文化庁と協議を行い、皆様方に再度提案できるほどになりました。また、保存計画作成のための下準備も進めています。近いうちに説明会を行いたいと思います。

本年も

よろしく

お願いいたします。

八月二十九日から三十日まで、全国伝統的建造物群保存地区協議会・関東甲信越静ブロック会議が、茨城県桜川市・真壁伝統的建造物群保存地区で開催されました。以前第三〇号において千葉県香取市・佐原伝統的建造物群保存地区の、東日本大震災による被災状況をご紹介しましたが、真壁も同様に大きな被害を受け、今なお修理を継続しています。

桜川市真壁（在郷町）

| | |
|---------|------------------------------------|
| 所在地 | 桜川市真壁町真壁字下宿町、高上町、大和町の全部、字上宿町、仲町の一部 |
| 種別 | 在郷町 |
| 条例制定年月日 | 平成一九年六月二〇日 |
| 選定年月日 | 平成二二年六月二九日 |
| 地区面積 | 約一七・六ヘクタール |
| 保存物件数 | 建築物 一〇六件 工作物 五六件 環境物件 五件 |

真壁は、戦国時代の真壁氏の居城・真壁城の城下町として形成され、その後江戸時代に真壁城が廃城になったのを機に、城下町の中心部に陣屋が置かれたことで発展しました。通りに面した短冊状の地割に、真壁造の木造店舗や見世蔵、土蔵、住宅などが整然と建ちます。



研修で宿泊した民宿「伊勢屋」。



修理中の土蔵(上・中)と、耐震用の壁(下)。



屋根をシートで養生したままの家並み(上)と、修理を行った建築物(下)。

数多く残されている歴史的建造物について、真壁では登録有形文化財に登録し、保存を図ってきており、その数は一〇四棟にもなります。現在山梨県内の登録有形文化財の件数が六九件なので、真壁の登録数がいかに突出しているかわかります。

先の震災では、壁の崩落や屋根瓦の落下など、小規模な被害はほぼ全ての建築物に見られ、うち七件は倒壊・半倒壊または構造的な被害を受けました。特定物件でない建築物では、その後取り壊されたものもあります。この未曾有の事態に、国・県・市の三者で協力し、補助金の上限を撤廃するなどして復旧に努めてきました。震災を機に空き家になってしまったものも多く、シートが被された建築物も少なくありません。

真壁では、古い町並みを活かした「真壁のひなまつり」を毎年開催しており、本年も二月四日から三月三日まで、街なかに多くのお雛様が飾られます。

機会があれば、ぜひ訪ねてみてください。



甲州市の小正月行事



山梨県指定 無形民俗文化財

田野の十二神楽

平成 26 年 1 月 1 2 日 (日)
午後 6 時から
田野地区公民館

山梨県指定 無形民俗文化財

一之瀬高橋の春駒

平成 26 年 1 月 1 2 日 (日)
午後 6 時から
旧高野家住宅・甘草屋敷

甲州市指定 無形民俗文化財

藤木道祖神祭り太鼓乗り

平成 26 年 1 月 1 4 日 (火)
午後 7 時から
藤木・放光寺駐車場